

平成 28 年 8 月 8 日
株式会社キングジム

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社のコーポレート・ガバナンスは、公正かつ透明性の高い健全な経営により、継続的な企業価値の向上を図ることを取り組みの基本的な考えにしており、平成 28 年 1 月 27 日にコーポレート・ガバナンス報告書を開示しております。

その中で、【補充原則 4-11③ 取締役会の実効性についての分析・評価】については、分析・評価の方法等も含め、その実施を検討するとしておりました。

この度、取締役会全体の機能向上を図ることを目的とし、平成 28 年度から取締役会の実効性に関する分析・評価を開始致しましたので、以下のとおり、その結果の概要をご説明申し上げます。

1. 平成 28 年度の分析・評価の方法

平成 28 年度の分析・評価においては、まず以下の事項を内容とするアンケートをすべての取締役会メンバー（取締役・監査役・執行役員）に配布し、その回答を得ました（回答は無記名方式）。そのうえで、回答の集計結果に基づき、取締役会で建設的な議論を重ね、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。

＜取締役会の実効性に関するアンケートの内容＞

- (1) 現在の取締役会による経営・監督のレベルについて（7 段階の選択肢の中から回答）
- (2) 取締役会の運営について（8 問、4 段階の選択肢の中から回答）
- (3) 取締役会の構成について（7 問、4 段階の選択肢の中から回答）
- (4) 取締役会による経営計画等の実行について（3 問、4 段階の選択肢の中から回答）
- (5) 取締役会による監督の実行について（9 問、4 段階の選択肢の中から回答）
- (6) 自由記載

2. 平成 28 年度の分析・評価結果の概要

当社取締役会は、以下の点から、取締役会の実効性が十分に確保できているものと分析・評価しています。

- (1) 取締役会による経営・監督のレベルを確認した上記 1. (1) の設問に対する回答は、全員が「ふつう」以上の選択肢を選択しており、現在の取締役会による経営・監督のレベルは問題ないレベルと判断されること。

(2) 取締役会の経営判断に係る具体的な 27 の質問（上記 1. (2) ～ (5)）についても、殆どの項目で「まあそう思う」以上の肯定的な回答をしており、取締役会は概ね適正に運営されていること。

(3) 上記全 27 の質問の内、特に高い評価を得た項目は以下の通り。

- ① 取締役会議長の司会進行は適切である。
- ② 取締役会において、代表取締役、常務取締役の他、取締役、社外取締役、監査役、社外監査役、執行役員も自由に発言できる雰囲気になっている。
- ③ 取締役会の員数は、取締役会における実質的な議論を確保する観点から適切であり、取締役会の構成員のスキル・経験・知見・性別・年齢等多様性のバランスが十分取れている。
- ④ 取締役会は独立社外取締役を有効に活用している。
- ⑤ 取締役会が一つの組織として一体的に機能している。
- ⑥ 利益相反を適切に管理している。
- ⑦ 取締役、執行役員、監査役の候補者、報酬に関し、指名・報酬委員会の関与は適切に行われている。

以下の項目については、取締役会の実効性をより充実させるために、対策を講じ、次回アンケートで改善状況を確認していくことを取締役会で確認致しました。

- (1) 後継者の検討状況のフォロー
- (2) 業績連動性を高めた報酬制度
- (3) 役員に対するトレーニング・研修の機会
- (4) 中期経営計画のフォローアップ
- (5) 付議事項の見直し

以 上